

科目名	教育と保育の心理学Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	前期			
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 必修 社会福祉主事任用資格 選択				
授業概要							
<p>教育と保育の心理学Ⅰでの知識を基礎にして、子どもの心身の発達と保育実践について理解を深める。表現活動を通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解する。子どもが楽しく表現力や主体性を伸ばすことのできるアートセラピーを実際に体験する。また、映像を用いて保育における発達援助について学んだり、様々な教育実践に触れる。</p>							
到達目標			成績評価方法				
<p>子どもの心身の発達を促す方法を考えることができる。 保育における発達援助について説明することができる。</p>			<p>レポート 授業態度</p>				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		10
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		30
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		10
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習	○	○	○	○	○		10
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション：子どもの多様性を尊重するためには。 自分自身の認知（脳の使い方）の個性を理解することを通して学ぶ。				自己理解のワーク			
2) 乳児期の発達に重要なことを理解する。 乳児期の心身の発達を促すものが何かを、映像を通して理解する。				小レポート			
3) 発達上、起こりやすい問題とその支援方法を理解する。 特に、発達障害の支援の方法を応用する。				小レポート			
4) 発達上、起こりやすい問題とその支援方法を理解する。 特に、発達障害の支援の方法を応用する。				小レポート			
5) 発達上、起こりやすい問題とその支援方法を理解する。 特に、発達障害の支援の方法を応用する。				小レポート			

6) アートセラピーで子どもの表現力を伸ばす。 スキィグル	ペアワーク・発表
7) アートセラピーで子どもの表現力を伸ばす。 黄黒交互彩色法	ペアワーク・発表
8) アートセラピーで子どもの表現力を伸ばす。 デカルコマニー	ペアワーク・発表
9) アートセラピーで子どもの表現力を伸ばす。 コラージュ	ペアワーク・発表
10) アートセラピーでコミュニケーション能力を高める。 二本の木のワーク	グループワーク・発表
11) 絵本セラピーで子どもの満足感と安心感を引き出す。	ペアワーク・発表
12) 自分が担当する子どもを想定し、アートセラピーの方法を考案する。	活動
13) 自分が考案したアートセラピーをペアの相手に実際にやってみる。	ペアワーク・発表
14) 子どもが何を考え、何を言語化できるのかを、幼稚園での実践の映像を通して考える。	グループディスカッション 発表
15) 集団活動における子どもの心理的な変化や葛藤を映像を通して理解し、保育士・幼稚園教諭の寄り添い方を考える。	グループディスカッション 発表
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	教育と保育の心理学 I
備考	